

烏山



世田谷区
ユニバーサルデザイン
普及啓発キャラクター
“せたっち”

地域の特徴、コースの見所

公園や寺社、農家の庭先など様々な場所をのんびり歩くことができるコースです。木々のざわめきや草花のかおり、木漏れ日や川のせせらぎなど五感で味わえます。途中にあるバス停を使って駅にも移動できますので、体力に合わせたコース設定が可能です。このマップでは区民参加でまちの整備を行った場所も紹介しています。烏山の魅力を様々な視点で探すガイドとしてご活用ください。



このモデルコースは、ユニバーサルデザインの視点で多くの人がまちを楽しく散策するために、区民参加で実際に歩いて作成したものです。

◆水際の散歩道(水無川)◆
水無川の上に「水際の散歩道」という歩道が整備されています。歩道脇の緑を感じながら千歳烏山駅付近まで、ゆっくりと歩くことができます。



◆古道「六郷田無道」◆
せたがや百景にも選ばれている古道で、大田区の六郷と西東京市の田無を結ぶ道。歩いていると、祠を見ることができます。



◆祖師谷中橋◆
ランドマークになるガラススタイルのドーム。その奥にあるお宅には、小さな時計台があります。



赤い棒は「釣竿」をモチーフにデザインしたものです。



車いすを使っている人や子どもも川が見られるように、欄干が透明になっています。



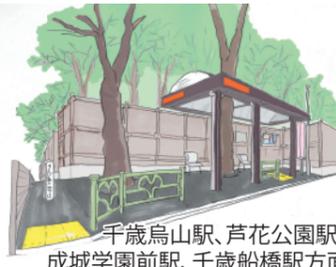
◆烏山神社◆
しらやまひめのおおかみ
祭神は白山比咩大神をはじめとする五柱。境内の手水鉢には「元文元年」(西暦1736年)の紀年銘があり歴史を感じさせる場所です。北側入口にスロープあり。



◆古道「六郷田無道」◆
区画整理された街並み



◆バス停：駒大グランド前◆
車いすの人も乗り降りしやすいバス停が整備されています。区民参加で検討しました。



◆仙川沿い歩道◆
駒大グランド側は車が入れないので、ゆっくり歩くことができます。



◆粕谷3丁目30番付近の桜並木◆
大きな桜が約50メートルに渡って並んでいます。足元の歩道は、区民のアイデアで広くて歩きやすいよう整備されています。



◆世田谷文学館◆
区にゆかりのある作家のコレクション展に加え、年数回企画展を開催します。また、文学サロンでは講演会、コンサート、朗読会、映画上映を行うなど、生きた文学を体験できる場となっています。



◆粕谷の竹林◆
竹林は江戸時代にこの地域の近郊農業として広まった筍栽培の名残として今に残るものであり、せたがや百景になっています。



◆都立蘆花恒春園◆
木漏れ日の中の散策や、季節のイベントで一年中楽しめる公園です。



凡例

- まちのみどりを探して歩こうコース 3.1km
- まちのせせらぎを目指して歩こうコース 3.6km
- 信号
- ♀ バス停
- ①五感ポイント
- ベンチ
- ▲ 横断注意
- ②ゆるっとポイント(待ち合わせ/休憩) ★
- ♿ トイレ
- 並木
- ③だれでも安心ポイント(トイレ) ☀
- ♿ 多機能トイレ
- 🌸 桜
- 👶 乳幼児施設
- 🪜 階段

